

令和4年度 横須賀市観光振興推進委員会 議事要旨

日 時：令和4年(2022年)10月7日(金) 13時00分～15時00分

場 所：横須賀市役所10階 第2委員会室

- ・ 令和4年10月11日から日本の入国制限が解除され、新型コロナウイルス感染症拡大前の訪日旅行ができるようになる。約3年後には、インバウンド年間消費額が日本人による宿泊の年間消費額を上回り逆転するだろう。横須賀市は羽田空港から近く、魅力的な観光資源もあるので、中長期的にしっかり取り組んでいく必要がある。
- ・ 課題にどう対応するかという記載が多いが、横須賀市の優位性を意識したほうが良い。横須賀市には自然や歴史、羽田空港など都心から近いなど優位性は数多くある。
- ・ それぞれの事業について、主体が不明瞭なので明記した方がよい。持続可能な形で、事業をさらに盛り上げていくためには、民間企業や地域コミュニティ、住民の方々の参画など様々な主体が参画する必要がある。
- ・ 横須賀市は近代のイメージが非常に強いが、近世以前の歴史や魅力もたくさんあるので、着目することが重要である。
- ・ 最近は広告の多様化が広がっている。これまでは、テレビが相当の広告料であったが、今では、テレビ、新聞、雑誌、ラジオをすべて足してもインターネットの広告量には及ばない。ここ数年で急速に変化しており、デジタルでの情報発信が一層重要になっている。

- ・ 自然や植生、花はファン層が圧倒的に女性である。これらを生かすことは、新しい横須賀市の戦略のひとつになりうる。
- ・ 観光資源を結ぶ、海を含めた二次交通を充実させる必要がある。
- ・ 横須賀市役所に創設された民間連携推進担当課に期待している。どうしても行政が縦割りになっていて、横での連携を積極的に行う組織が必要だと思っていたので嬉しい。
- ・ 高単価な商品の開発を積極的に進めていく必要がある。高単価という意味は、料金を高くするというのではなく、付加価値をどれだけ付けられるかということである。これを考えることで、横須賀市の魅力が見えてくると思う。
- ・ 各種イベントで横須賀市に来たとしても、リピートのきっかけ、観光として横須賀市に来るといった状況になっていない。併せて、横須賀市でお金を落とす仕組みができていないということが大きな課題である。
- ・ 横須賀市は海の幸や野菜も豊富なのに、カレー以外の名物がない。食と観光を上手く絡める必要がある。
- ・ K P I について従来の K P I が踏襲されているが、質的な指標がない。質的な指標のひとつに満足度がある。将来的に満足度という指標を入れてみてはどうか。
- ・ 10代、20代の方々の SNS の影響力は大きなものがある。若い方々に地元の魅力を知ってもらい、行政だけではなく、若い方々に SNS で横須賀市の情報を発信してもらうことが重要である。